

# シーン3: 愛

紅一点チャイナを失った一行。お色気担当不在の緊急事態のなか電気街をさまよううちに、カメラ小僧が珍しく真剣な顔になる……。



貴重なチャイナ服が3000

お色気終了かよ…

うーん、愛しのメイドさんが心配だ…



よし、行ってみよう



ここはまだ無事かな?



こりゃ、やべえぜ!



どうした、カメラ小僧?

俺……俺さ

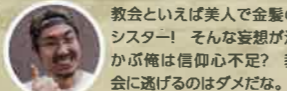


カ、カメラ小僧~!!

オレはメイドゾンビとここに残る!

# CHECK! 秋葉原には逃げ込めるスポットがいっぱい!?

秋葉原にはゾンビ映画定番のショッピングモールこそないが、さまざまな建物があるため、逃げ込める場所は非常に多い。とはいえ、ゾンビ専門家の伊東美和さんが語っていたように、人が多いところはできるだけ避けるといいかもしれない。意外と知られていないが、秋葉原にある教会に逃げ込めば、信仰心次第で神様が守ってくれるかも!



ゾンビパニック中なら高価なカメラ機材が入り放題かも! 俺なら真っ先に逃げ込んじゃうね!

教会といえば美人で金髪のシスター! そんな妄想が浮かぶ俺は信仰心不足? 教会に逃げるのはダメだね。

# カメラ小僧のメイド愛が大暴走! 安否を確かめにメイド喫茶へ!!

カメラ小僧の願いを聞き入れてメイド喫茶シャツキステを訪れた一行。空腹を満たすために注文して待つこと数十分……気がつけば、愛すべきメイドたちがゾンビに変貌を遂げていた! すぐさま脱出を図ろうとするが、メイドさんならゾンビでもいいと、カメラ小僧はシャツキステに再突入! そして彼は夜空の星となった……。

## BADGUYたちが訪ねたメイド喫茶はココだ!

末広町の駅にほど近い場所に構えるのがシャツキステ(P21/B-6)。私設図書館の名は伊達ではなく、様々なサブカルチャー書籍を完備した名店だ。黒のロングスカートに白いエプロンがまぶしいメイドたちが接客してくれるぞ。

私設図書館 シャツキステ



おかえりなさいませ…

## メイドさんが無事なら腹ごしらえだ!

サンゲリア



なんか料理が変だと思ったら…

ピヨンド



悪魔の墓場

美味しそうだけど目玉や指っばいにかがのった料理が出てきたぞ? これは一体どういことだ?

## メイドさんも感染してる!

## ゾンビメイドに会うならココ!

シャツキステは過去数年にわたってハロウィンの時期にMAID of the DEADというゾンビメイドイベントを開催している。今年も開催されるなら、素敵な本格派(?)ゾンビメイドと仲良くお茶できるかも? これは要チェックだぞえー!!



メイドを見たら俺を思い出してくれ…

かわいいメイドならゾンビでもOK!

# シーン4: 終末

サバゲ少佐とのりべー。彼らに残されたものは掛け替えの無い友情だけだった。固い握手を交わす2人の未来は……。

## 前衛は任せた!(コイツを叩け…)



お、おう (絶対裏切る顔だ…)

## 戦うかねえ! →Aパート



逃げるだろ普通 →Bパート



武器屋を見つけたぜ!

ココに逃げよう!



武器が大量だ!

マンガが大量だ!



ゾンビども覚悟しろ!



そして誰もいなくなった……

# このゾンビ地獄から生き延びる道はあるのか!?

武闘派(笑)と頭脳派(?)。両者の意見は食い違ったものの、長年の付き合いでつちかわれた友情パワーにより、生存のために協力することに。だが、姑息なりのりべーの裏切りにより、両者は孤独な戦いに身を投じる。さて、賢明なる読者諸君は、どちらの道を選ぶのだろうか? ここではどうか自分の意見と同じ記者が辿った結末から、見ていってほしい。



あばよ!

あの野郎!

# A ゾンビと戦う武器や防具を探せ!

戦うことを選んだサバゲ少佐は、武器を求めて電気街を走り抜け、ゾンビ映画の定番武器を中心に鈍器や刀、それに銃器などを入手する。これから命を託すことになる武器に名前を付け、ゾンビが跋扈する街へと戻るサバゲ少佐。その背中を見た者はいない……。

## ゾンビを狩るならコレだ!

### エクスターミネーター 濡れるッ! 刀(雑蓮)

ゾンビと戦うなら日本刀の存在も欠かせない! どこが濡れるのかは割愛するが、600円程度でも買えて非常にリーズナブルだ。アキバならゲーセンのUFOキャッチャーでも手に入るぞ。



### アキバ行双刃サングレコード

某ゾンビ映画では、レコードも武器にしていたんだ。まんだらけ(P9/B-4)なら、アニメなどのレコードが安いで手に入るから、飛び道具に困ったら寄るのもいいかな!

### スライクエンペー 鈍器王パット

対ゾンビ鈍器といえば、バットかボールと相場が決まっている! コイツで頭を叩けばゾンビだってイチコロさ。某家電量販店のパッチェンセンターで手に入るぞ。

### パイオニアOPでも馴染み サムライエッジ

ゾンビ用の銃と言えばやっぱりコイツだ! GUN&MILITARY ECHIGOYAで手に入る逸品だぜ。ゾンビを倒すなら形から入らないといけなないだ!

# B 電気街で安息の地を探すのだ!

彼の記者として培っていた経験と知識、そのすべてを総動員した結果は逃げの2文字だった。圧倒的絶望感に悩まされた彼は、原稿を催促する編集からの電話を無視するライターのごとく、安息の地を求めて電気街をさまよう。そして大好きなマンガに囲まれた場所に立て籠もろうと、とあるマンガ喫茶へと足を踏み入れるのだった。そして、その店から出てくることはなかった……。

## ゆっくり休める場所はココ!

和style.cafe(P21/B-6)は純和風の店内に飾られるマンガ雑誌、壁が貼られた個室やゆったりとした部屋(有料)など、実家に帰ったときのような安心感も、マンガやネットワーフィンを楽める秋葉原のオアシスだ。

## ここでなら死ぬほどグッスリ眠れるぞ!



## そしてBADENDへ…… 彼らの末路とは!?

こうして4人の記者たちのサバイバルは失敗に終わった。この記事は、いくぶんかの想像を交えて記されたものである。さて、この記事を印刷所に……送付し……たらしくじだ……かゆい……うま……

大型量販店で方向不明、人が多いところはゾンビも多い。そんな戦訓をみんなに与えて散った。チャイナ服まで着たのに一番出番が短い不幸な人。

サバゲーで鍛えた戦闘力を頼りにゾンビに突撃。だが、モデルガンでは勝つことができなかった。彼の甘い新婚生活は、1か月に満たず、終わりを告げてしまった。

ゾンビメイドに幸せな捕食をされて終了。メイド(ゾンビ)にタッチしてきたとあって、お宝画像満載のカメラを抱えた死に顔は、とても安らかだった。

逃げた先でグッスリと寝たところをゾンビに食われる。その無残な姿は、深夜の繁華街の道楽に転がる酔っ払いのようであったという。